

2014年3月期第2四半期  
**決算説明会**

2013年10月31日  
株式会社トプコン  
取締役社長 平野 聡

*Creativity & Growth*

## 2014年3月期第2四半期 決算説明会

I

2014年3月期第2四半期決算報告

II

2014年3月期通期見込

III

参考資料

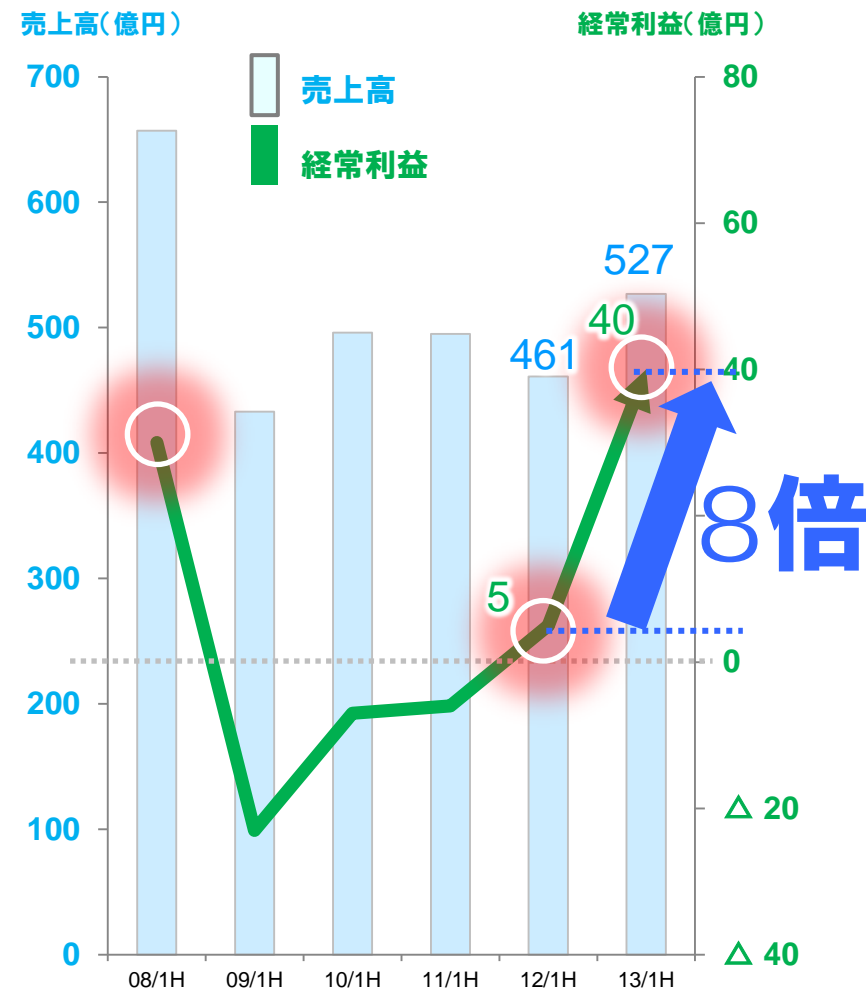
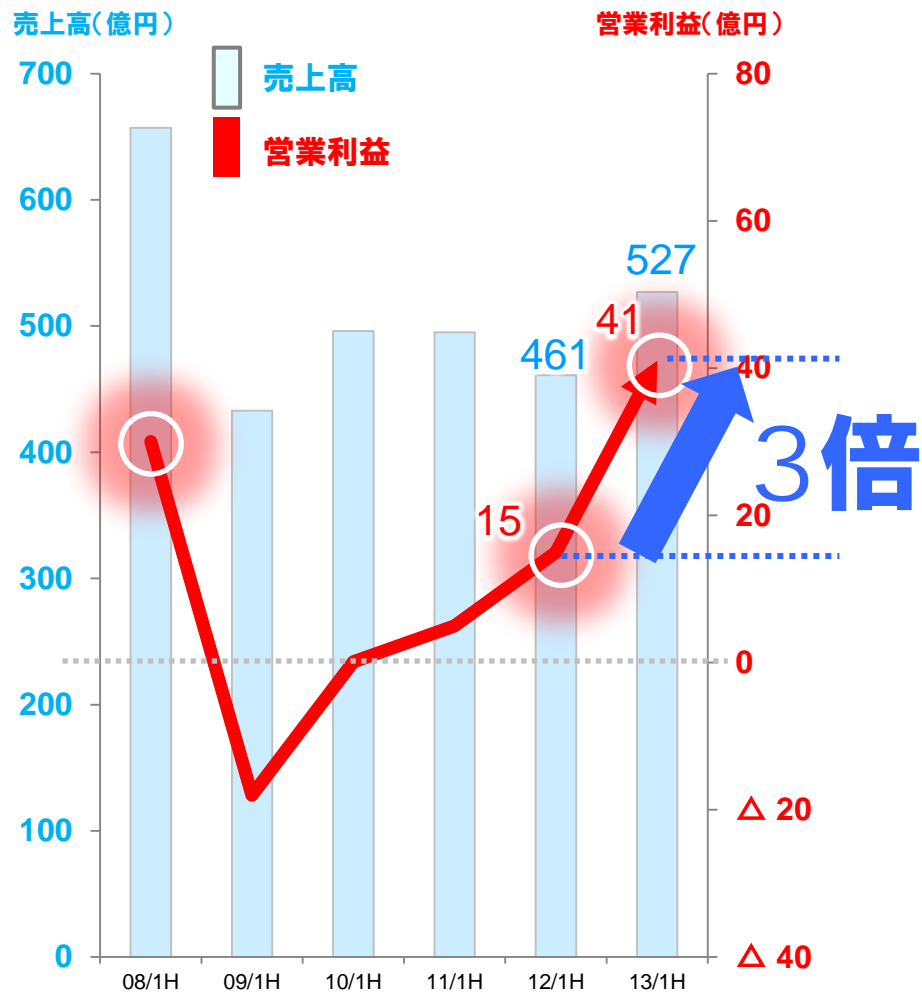
# I. 2014年3月期 第2四半期決算報告

## I-1. 2014年3月期第2四半期決算報告

## I-2. カンパニー別状況

# トピック <上期大幅増収増益>

## 上期業績推移



# FY2013 上期実績 <飛躍的な増益>

(単位:百万円)

[連 結]	FY2012/1H		FY2013/1H		2013年7月31日
	実績		実績	前年同期比	公表値
売上高	46,121		52,795	6,674	52,000
売上総利益 (売上総利益率)	19,400 (42.1%)		24,986 (47.3%)	5,586	
販管費	17,894		20,842	2,948	
営業利益 (営業利益率)	1,505 (3.3%)		4,143 (7.8%)	2,638	3,500 (6.7%)
営業外損益	△1,019		△103	916	
経常利益	486		4,040	3,554	2,800
特別損益	△1,162		△597	565	
税引前利益	△675		3,442	4,117	
四半期純利益	△1,221		1,673	2,894	1,200
中間配当	2 円		5 円	3 円	5 円
為 替 換算レート (期中平均)	US\$	79.43 円	97.99 円	18.56 円	94.53 円
	EUR	101.12 円	128.79 円	27.67 円	124.20 円

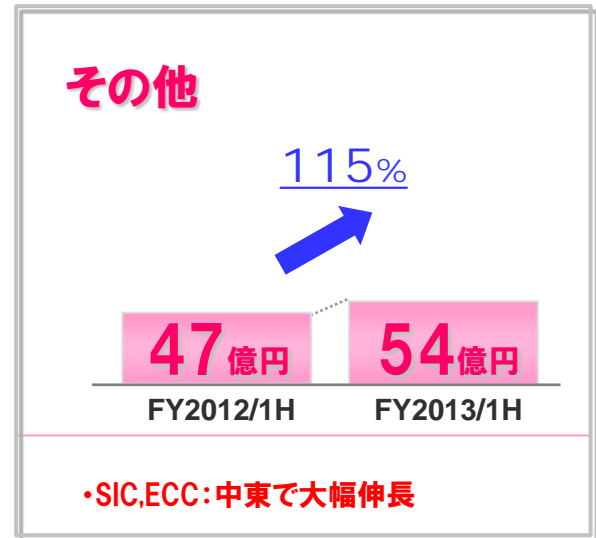
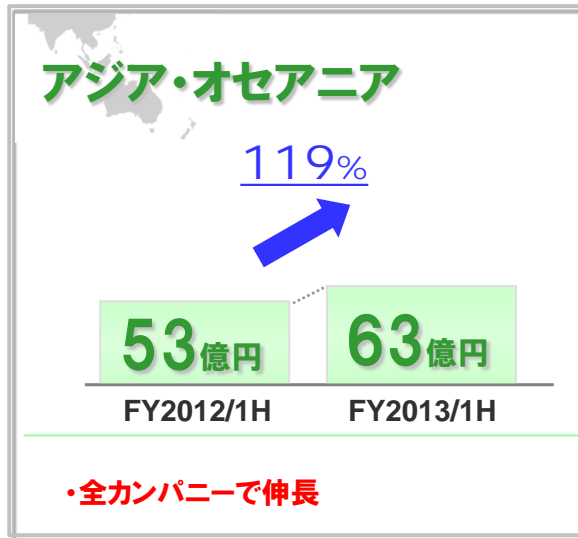
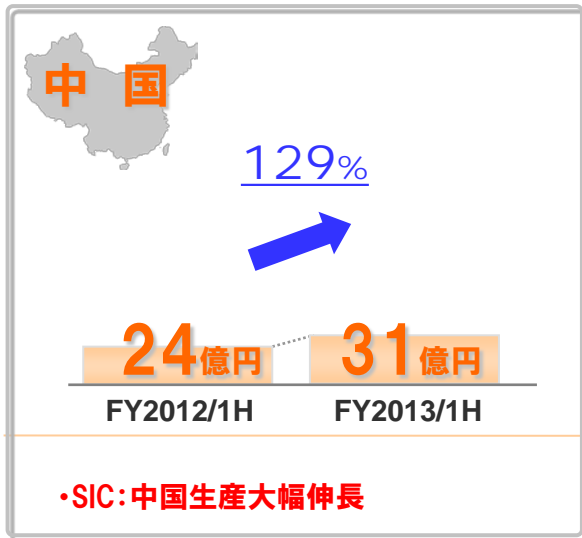
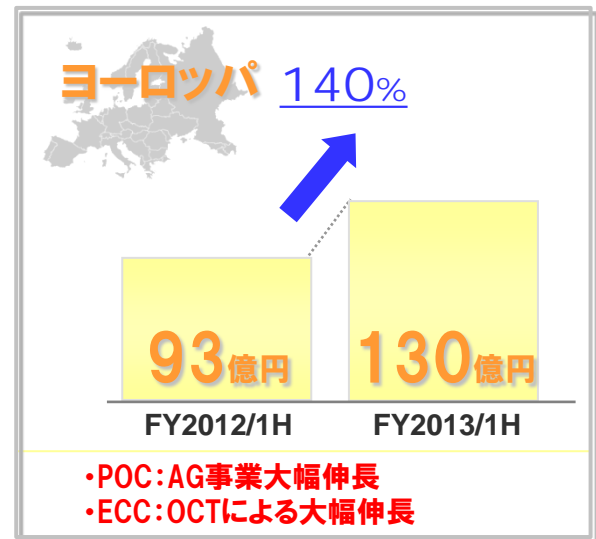
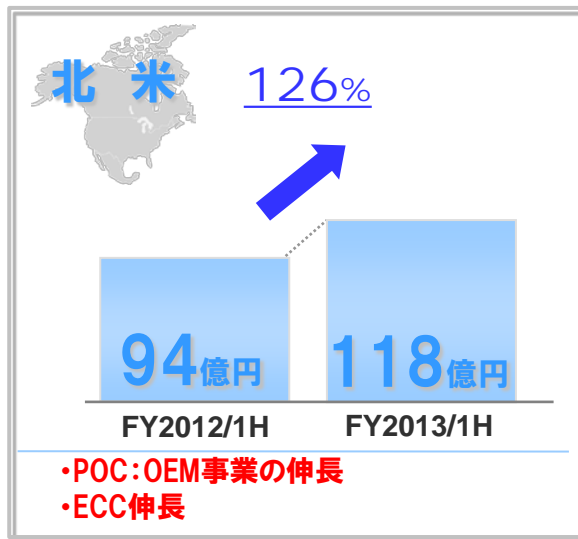
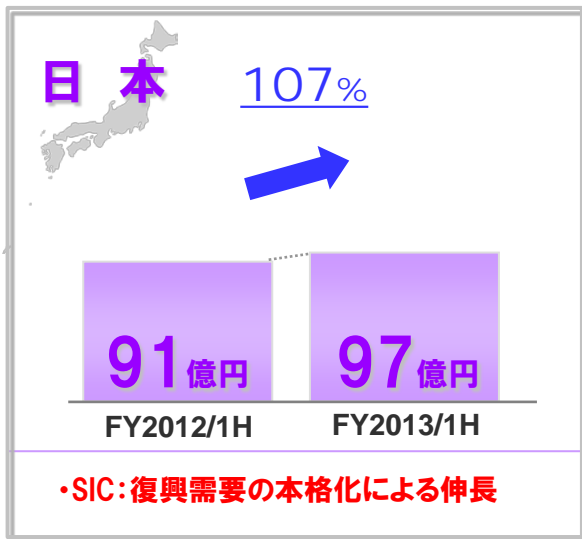
# FY2013 上期カンパニー別実績

〈全カンパニーで増収増益〉

(単位:百万円)

[連結]		FY2012/1H	FY2013/1H		2013年7月31日
		実績	実績	前年同期比	公表値
売上高	スマートインフラ	13,734	15,887	2,153	15,000
	ポジショニング	17,437	22,352	4,915	21,000
	アイケア	14,478	17,072	2,594	18,000
	その他	5,728	3,175	△2,553	3,000
	消去	△5,256	△5,692	△436	△5,000
	合計	46,121	52,795	6,674	52,000
営業利益 (営業利益率)	スマートインフラ	1,472 (10.7%)	1,975 (12.4%)	503	1,600 (10.7%)
	ポジショニング	538 (3.1%)	1,830 (8.2%)	1,292	1,500 (7.1%)
	アイケア	483 (3.3%)	1,251 (7.3%)	768	1,200 (6.7%)
	その他	△219 (△3.8%)	16 (0.5%)	235	0 (0%)
	調整	△769	△928	△159	△800
	合計	1,505 (3.3%)	4,143 (7.8%)	2,638	3,500 (6.7%)

# 国内・海外売上高(前年同期比) <全ての地域で伸長>



- ・旧ファインテックビジネスを除いた売上高
- ・SIC=スマートインフラ・カンパニー、POC=ポジショニング・カンパニー、ECC=アイケア・カンパニー

# I. 2014年3月期 第2四半期決算報告

I-1. 2014年3月期第2四半期決算報告

I-2. **カンパニー別状況**



(単位:百万円)

	FY2012/1H 実績	FY2013/1H 実績	前年同期比
売上高	13,734	15,887	+2,153
営業利益 (営業利益率)	1,472 (10.7%)	1,975 (12.4%)	+503

### 上期業績要因分析

#### + ポジティブ・ファクター

- **復興事業の本格化**、情報化施工の浸透により国内売上が増加  
(前年同期比140%)
- **中国市場は回復傾向** (前年同期比130%)
- **新製品** (モータードライブ型トータルステーション) 投入による売上増

#### - ネガティブ・ファクター

- 欧州市場の景気回復遅れ、新興国の為替変動

(単位:百万円)

	FY2012/1H 実績	FY2013/1H 実績	前年同期比
売上高	17,437	22,352	+4,915
営業利益 (営業利益率)	538 (3.1%)	1,830 (8.2%)	+1,292

### 上期業績要因分析

#### + ポジティブ・ファクター

- 建機向けOEMが売上伸長 (前年同期比250%)
- IT農業分野はOEMが引き続き好調 (前年同期比160%)

#### - ネガティブ・ファクター

- 欧州市場の景気回復遅れ

(単位:百万円)

	FY2012/1H 実績	FY2013/1H 実績	前年同期比
売上高	14,478	17,072	+2,594
営業利益 (営業利益率)	483 (3.3%)	1,251 (7.3%)	+768

## 上期業績要因分析

### + ポジティブ・ファクター

- 全世界で新製品3D OCT-1 Maestroの販売好調 (前年同期比180%)

### - ネガティブ・ファクター

- 欧州市場の景気回復遅れ、中国市場の伸び悩み

# 2014年3月期通期見込

II-1. 2014年3月期通期業績見込

II-2. 下期以降の注力事項

II-3. まとめ

# FY2013 通期業績見込 <前年度比増収増益>

(単位:百万円)

[連 結]		FY2012	FY2013		
		通期	通期		2013年7月31日
		実績	見込	前年度比 (%)	公表値
売上高		97,345	110,000	113%	110,000
営業利益 (営業利益率)		5,214 (5.4%)	11,500 (10.5%)	221%	11,500 (10.5%)
経常利益		3,471	10,000	288%	10,000
当期純利益		511	5,000	978%	5,000
ROE		1.3%	10.3%		10.3%
ROIC		3.8%	9.5%		9.5%
配当		6 円	10 円		10 円
為 替 換算レート (期中平均)	US\$	83.23 円	94.30 円		92.44 円
	EUR	107.57 円	124.74 円		122.26 円

為替レートは10月以降90円/ドル、120円/ユーロを前提としております

# FY2013 通期業績見込（カンパニー別） <各カンパニーとも増収増益>

（単位：百万円）

[連結]		FY2012	FY2013		
		通期	通期		2013年7月31日
		実績	見込	前年度比 (%)	公表値
売上高	スマートインフラ	29,839	33,000	111%	33,000
	ポジショニング	37,824	43,000	114%	43,000
	アイケア	31,073	38,000	122%	38,000
	その他	9,262	7,000	76%	7,000
	消去	△10,653	△11,000		△11,000
	合計	97,345	110,000	113%	110,000
営業利益 (営業利益率)	スマートインフラ	4,126 (13.8%)	4,800 (14.5%)	116%	4,800 (14.5%)
	ポジショニング	1,413 (3.7%)	4,000 (9.3%)	283%	4,000 (9.3%)
	アイケア	1,563 (5.0%)	4,200 (11.1%)	269%	4,200 (11.1%)
	その他	△269 (△2.9%)	100 (1.4%)	—%	100 (1.4%)
	調整	△1,618	△1,600		△1,600
	合計	5,214 (5.4%)	11,500 (10.5%)	221%	11,500 (10.5%)

# 2014年3月期通期見込

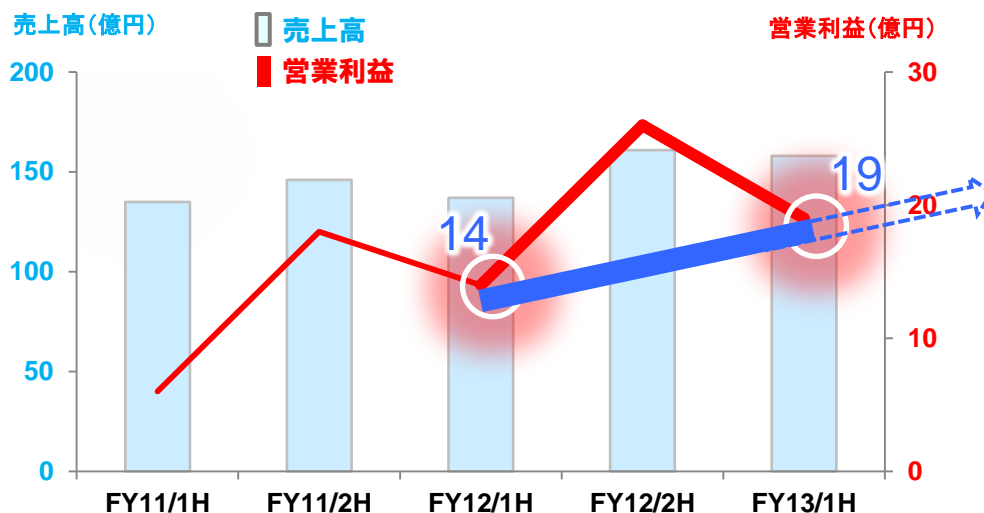
II-1. 2014年3月期通期業績見込

**II-2. 下期以降の注力事項**

II-3. まとめ

## 1. スマートインフラ

- 高収益トータルステーション (MDTS\*) のラインアップ充実
- 建築BIM、土木BIM市場向け新商品開発と新規分野への参入
- 復興需要の対応継続と新規需要 (東京オリンピック) 対応

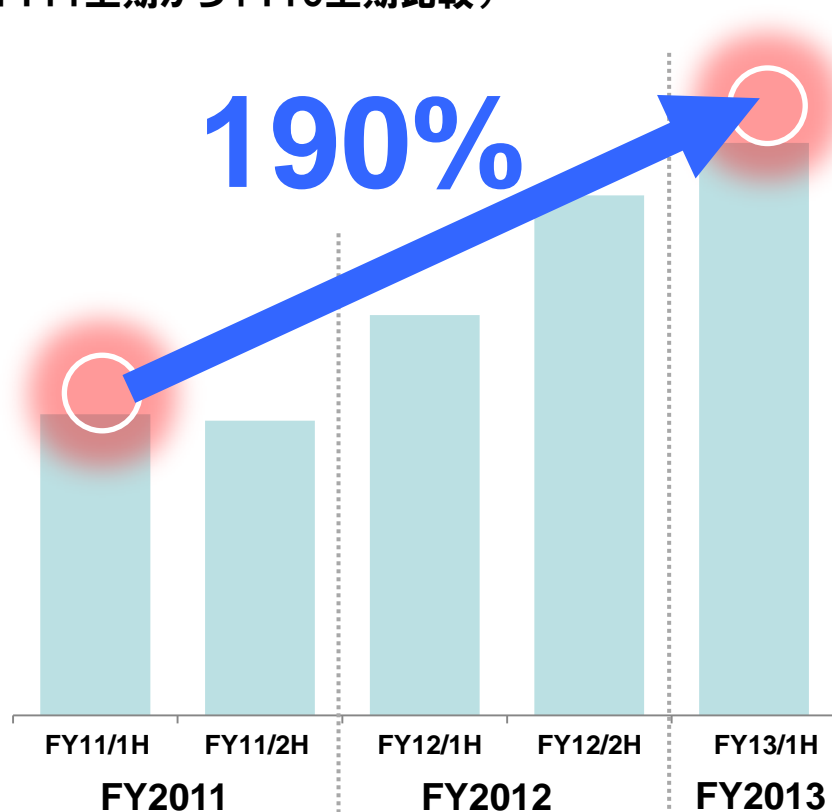


\* MDTS=モータードライブ型トータルステーション



## MDTS\* 売上推移

(FY11上期から FY13上期比較)



\* MDTS=モータードライブ型トータルステーション

## DS/DXシリーズ投入による MDTS\*ビジネスの伸長



トータルステーションラインアップを充実させ、  
更なるビジネス伸長を目指す



2013年

2014年

1月

7月

10月

1月

3月

トータルステーション



**DS/DX**  
コンパクト型  
自動視準  
TS\*1



**ES/OS**  
基本機能  
TS\*1

**DS100AC+/DX100AC+**  
コンパクト型  
自動追尾TS\*1



**Cygnus Prism**  
基本機能TS\*1



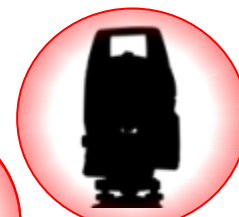
**GTS-250/SET60**  
基本機能TS\*1



**IS-310**  
レイアウト仕様  
TS\*1



**MDTS\*3**



**MDTS\*3**

3D計測、他



**RL-200 1S/RL-200 2S**  
堅牢・高精度なRL\*2



**建築革命！  
BIM専用機**



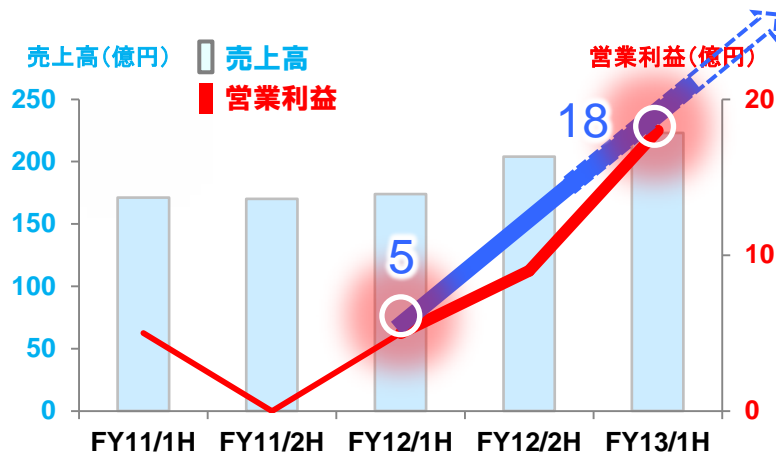
\*1 TS = トータルステーション

\*2 RL = ローテーションングレーザー

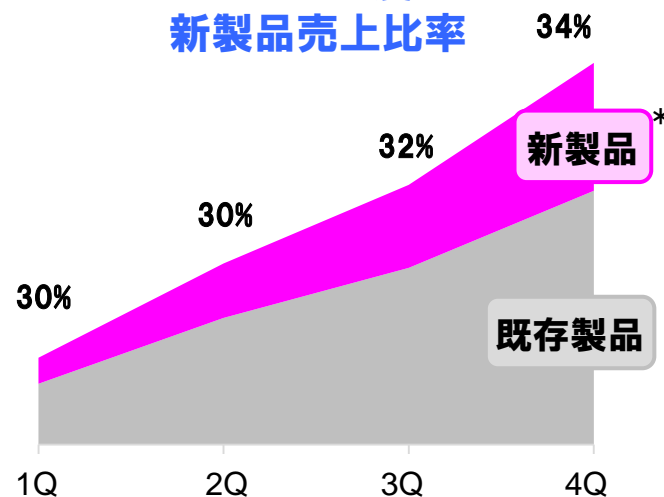
\*3 MDTS = モータードライブ型トータルステーション

## 2. ポジショニング

- 建機・農機向けのOEM事業を加速
- 戦略的製品リリースによる新規分野拡大
- アジア向け新製品の投入による販売拡大



2013年度  
新製品売上比率

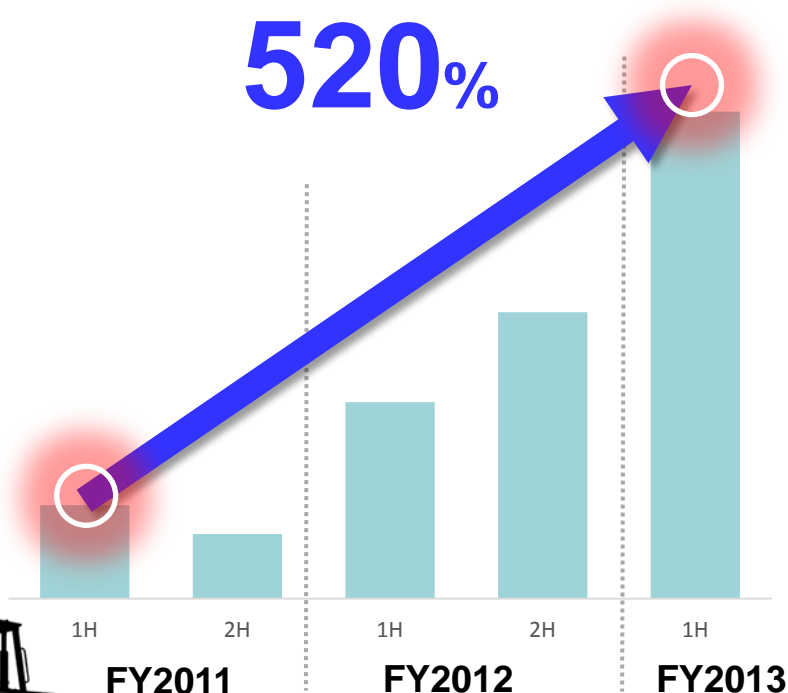


\*過去1年以内にリリースされた製品の累計

### 建機向け売上推移

(FY11上期からFY13上期比較)

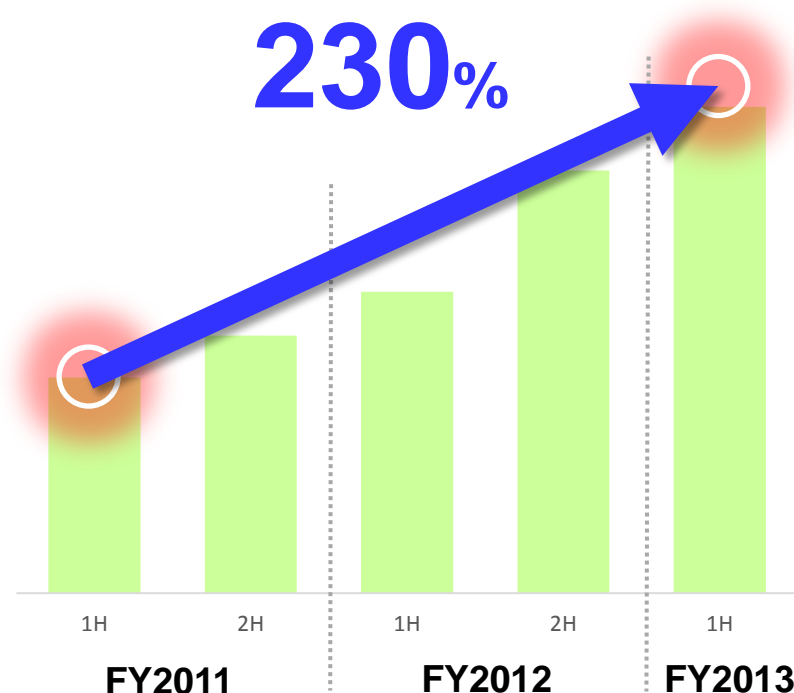
520%



### 農機向け売上推移

(FY11上期からFY13上期比較)

230%



# 新製品の投入 <アジア向け新製品の投入による販売拡大> Positioning

2013年

2014年

1月

4月

7月

10月

1月

3月

GPS

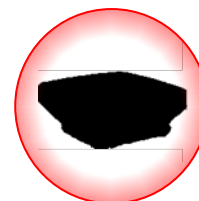
**GR-5+**  
高度なトラッキング  
技術搭載の  
GNSS受信機



**MAGNET LAYOUT**  
レイアウトに特化した  
フィールドソフトウェア



**MAGNET Hybrid Positioning**  
GPSとトータルステーションを  
合わせた測量用ソフトウェア



アジア向け  
GPS受信機



MC & AG\*



**AGI-4**  
世界最小の  
オートステアリング  
コントローラ

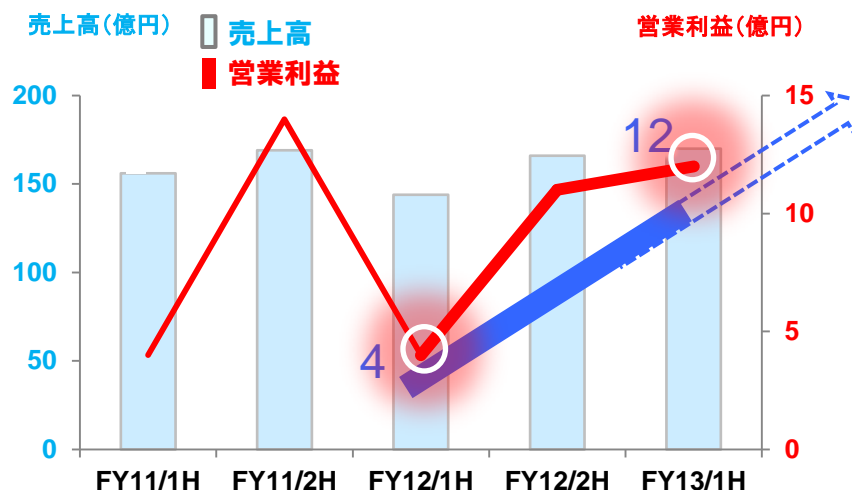


アジア向け  
MCシステム

\* MC=マシンコントロール  
AG=農業

## 3. アイケア

- 3D OCTの拡販 (前年度比200%の見込)
- 共通プラットフォーム新製品拡充
- レーザ治療器の新製品投入により治療器分野の売上拡大(前年度比125%の見込)



## 3D OCT-1 Maestro 指一本で誰でもはかれる 究極のスタンダード機



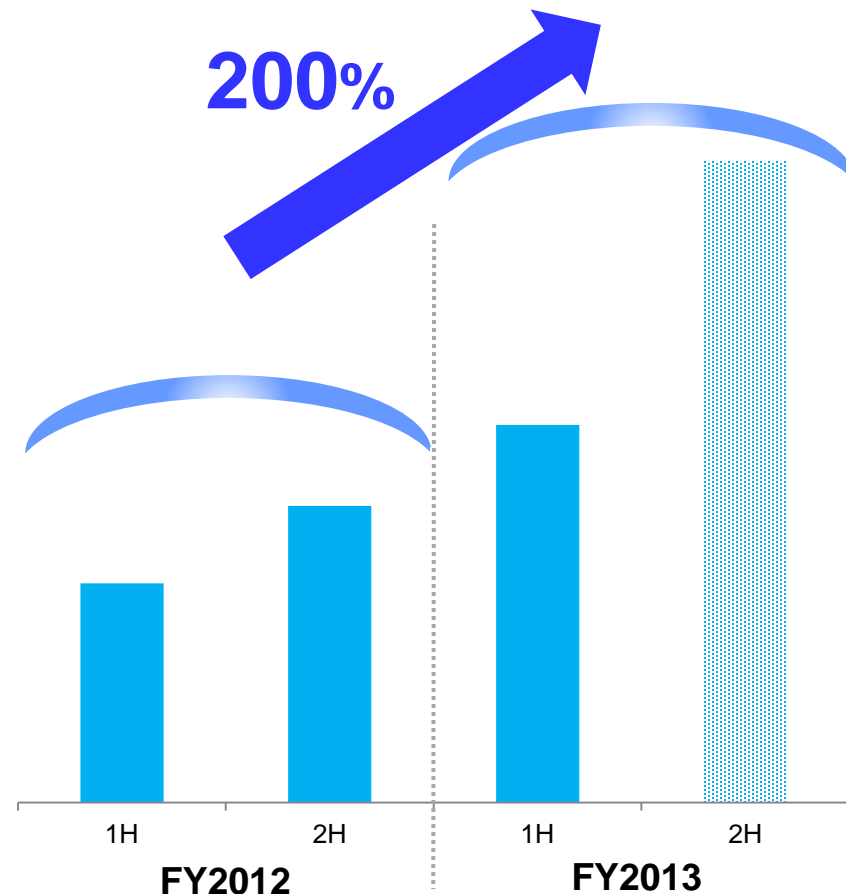
(共通プラットフォーム製品)

### 拡大する健診市場に最適

- 対象市場
- オプトメリスト
  - 予防・健診

## OCT販売台数推移

200%

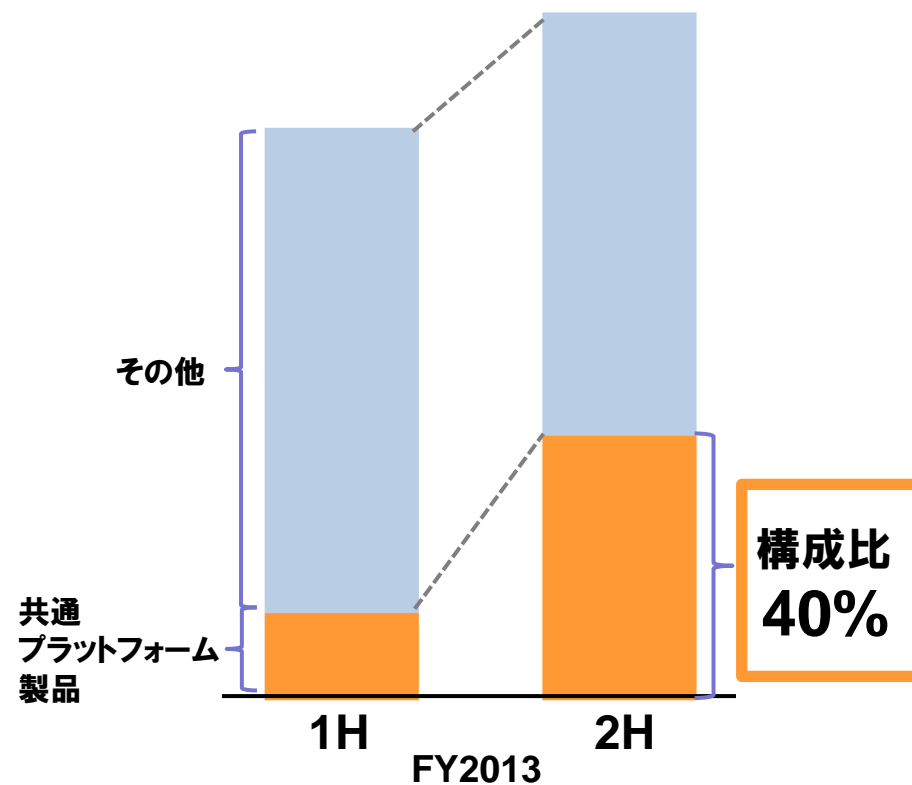


共通プラットフォーム  
今年度、新製品6機種発売予定！



共通プラットフォーム新製品売上

下期大量投入 売上増/利益改善に貢献





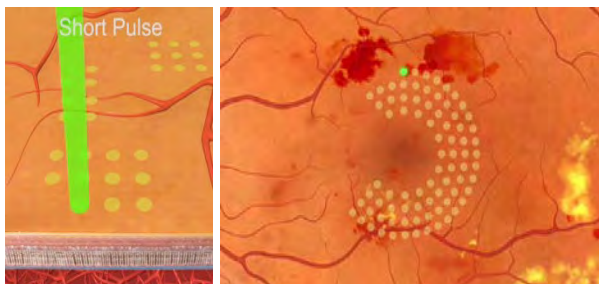
## PASCAL ラインアップ充実!

**FDA取得 ユーザー層拡大**



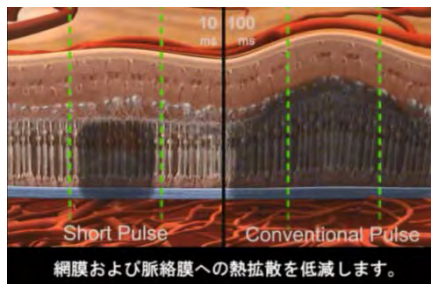
**価格競争力アップ 全ユーザー対応完了**

### PASCALの特長



**速い!**

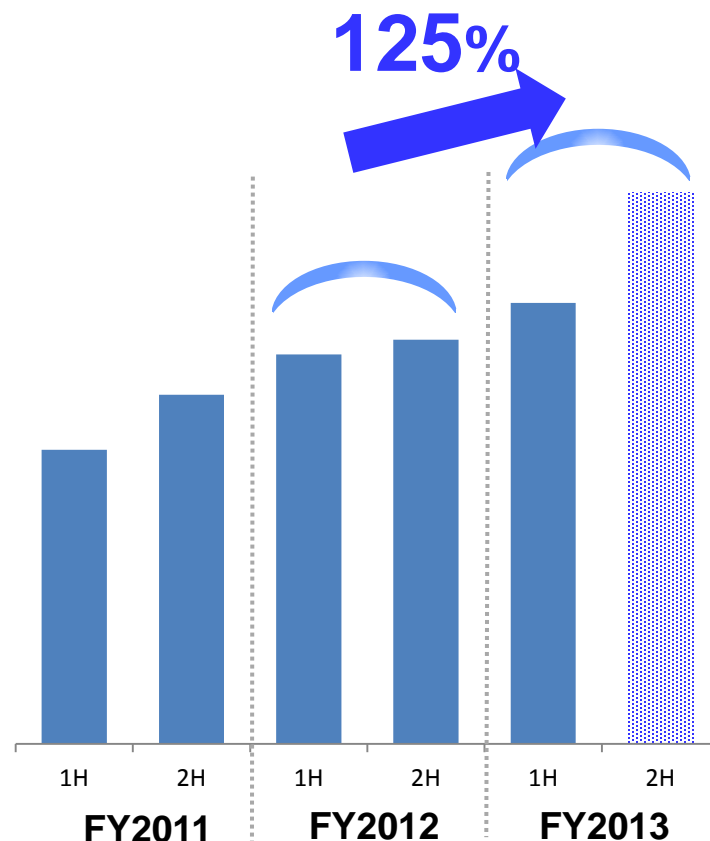
**治療時間短縮 パターンキャン**



**痛みが少ない!**

**疼痛軽減 ショートパルス**

## レーザー光凝固装置 PASCAL 販売台数推移



2013年  
1月

4月

7月

10月

2014年  
1月

3月

<p><b>検査・診断</b></p>	<p>3D OCT-1 Maestro 究極のスタンダード機</p> <p>SP-1P</p> <p>共通プラットフォーム</p> <p>共通プラットフォーム</p>
<p><b>治療器</b></p>	<p>PASCAL Synthesis 患者にやさしい治療器</p> <p>ラインアップの充実</p>
<p><b>FDA取得 (予定)</b></p>	<p>TRC-NW300</p> <p>TRC-NW8</p> <p>PASCAL Synthesis 取得済</p> <p>TRC-50DX 取得済</p> <p>IMAGEnet5 10月取得</p> <p>順次取得</p>

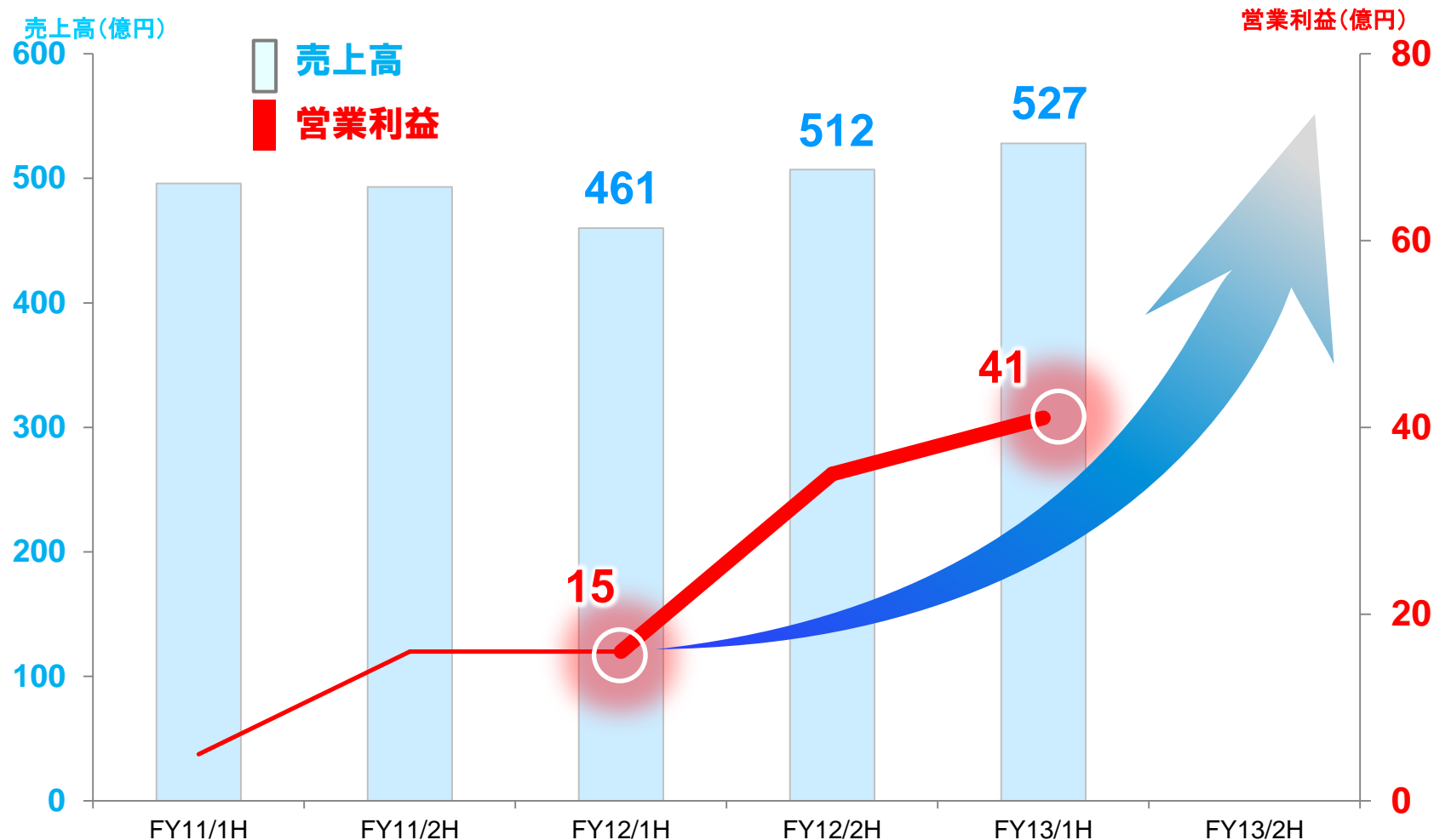
# 2014年3月期通期見込

II-1. 2014年3月期通期業績見込

II-2. 下期以降の注力事項

**II-3. まとめ**

## 半期別業績推移



# *Creativity & Growth*



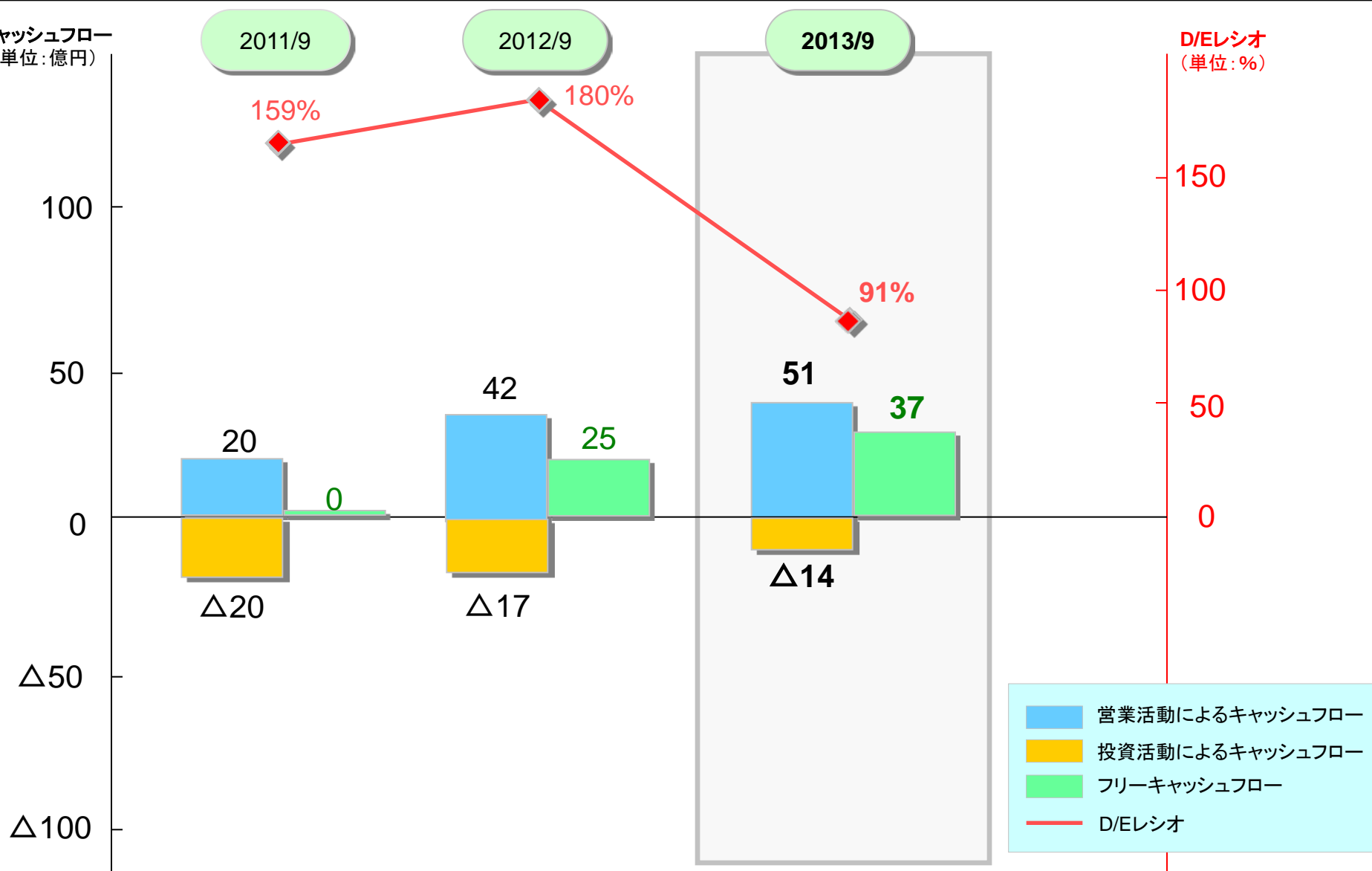
**“中計2015”最終年度の  
ROE目標20%を目指して  
企業価値向上に努めます**

# III. 参考資料

# 連結キャッシュフロー <フリーキャッシュフローの大幅改善>

キャッシュフロー  
(単位: 億円)

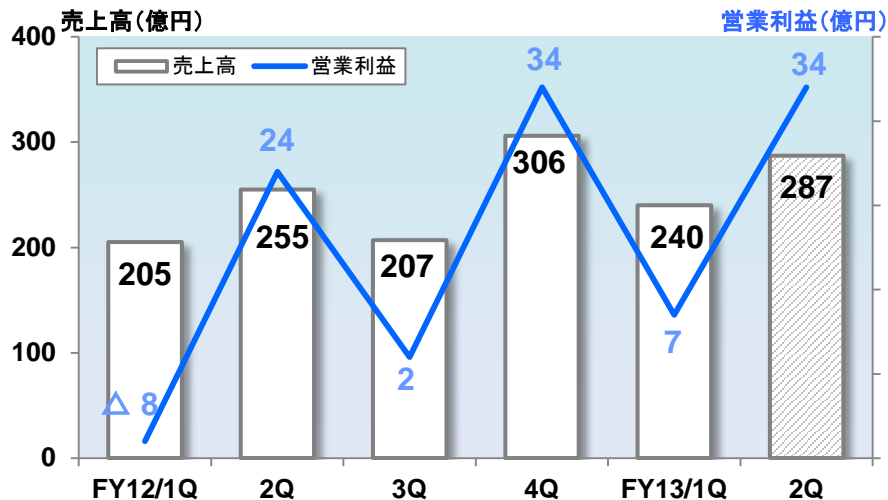
D/Eレシオ  
(単位: %)



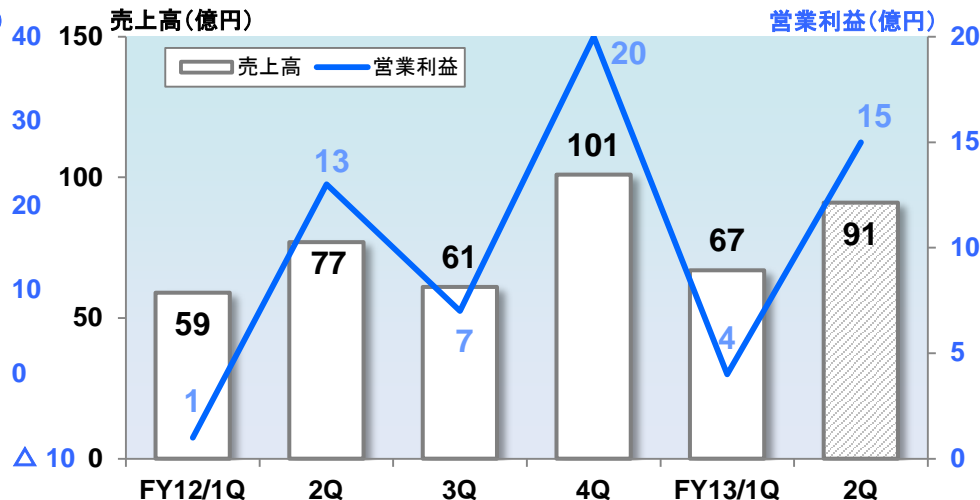
- 営業活動によるキャッシュフロー
- 投資活動によるキャッシュフロー
- フリーキャッシュフロー
- D/Eレシオ

# 四半期別業績推移

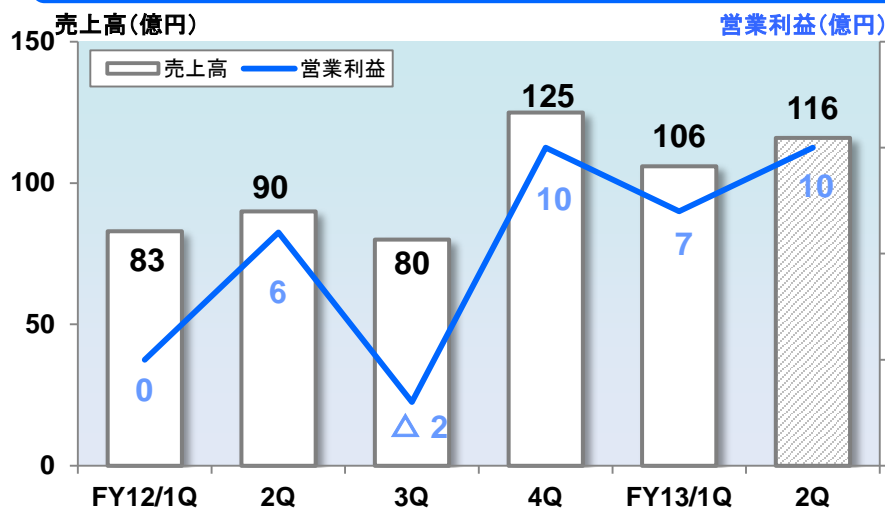
## 1. 全社



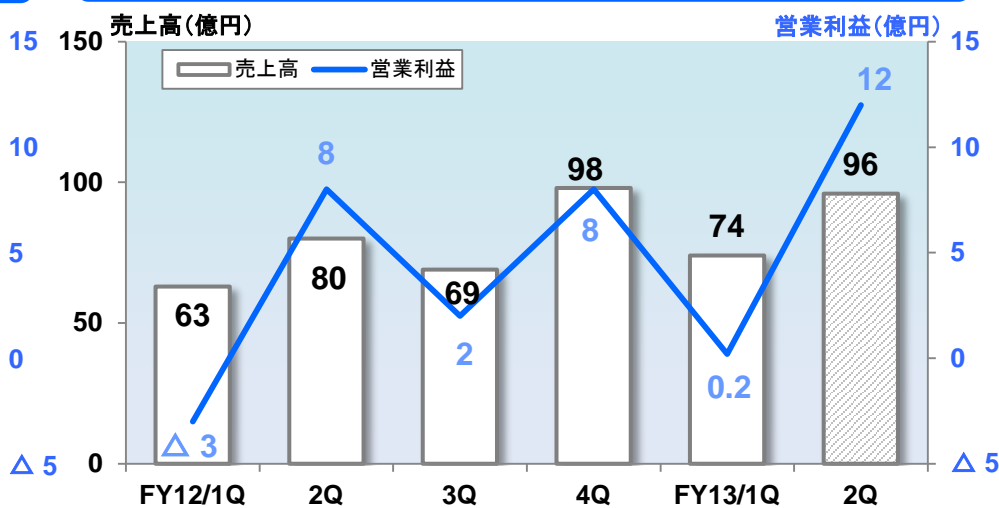
## 2. スマートインフラ



## 3. ポジショニング



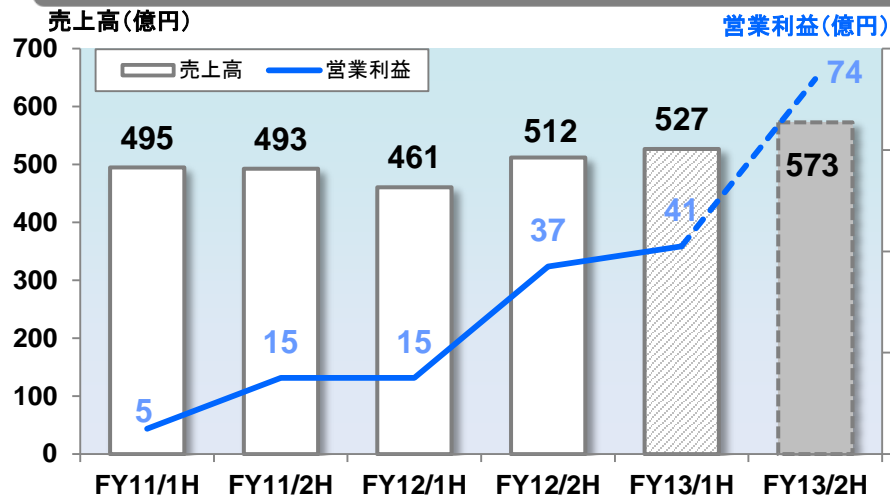
## 4. アイケア





# 半期別業績推移

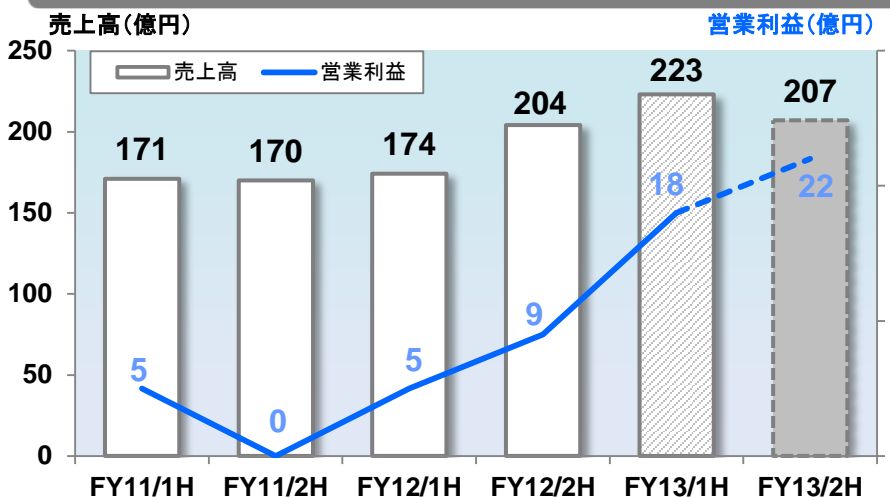
## 1. 全社



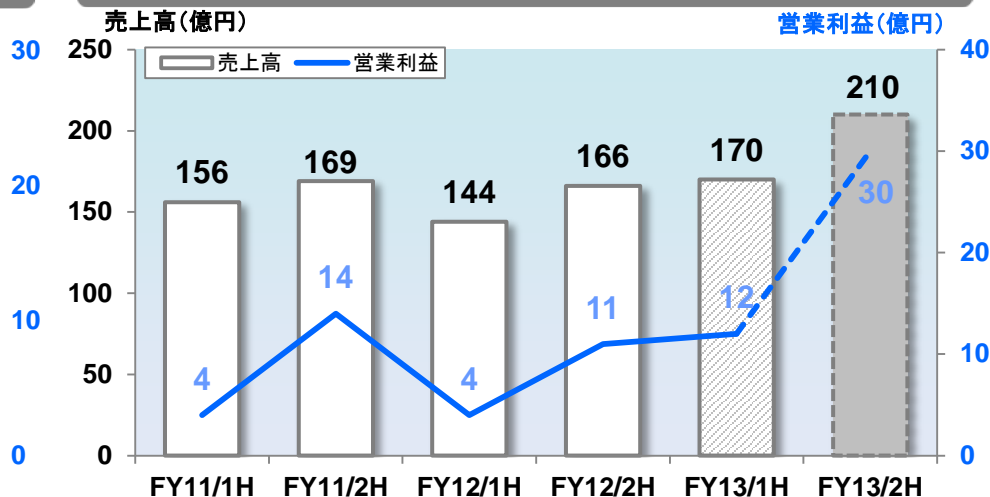
## 2. スマートインフラ



## 3. ポジショニング



## 4. アイケア



## 当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。  
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

**Creativity  
& Growth**



### お問い合わせ先

株式会社トプコン 経理グループ 広報・IR部

TEL : 03-3558-2532

E-mail: [investor\\_info@topcon.co.jp](mailto:investor_info@topcon.co.jp)

URL : <http://www.topcon.co.jp>